

平成30年度 第1回 仙台市情報モラル教育推進会議 開催

(平成30年5月14日(月)実施)



本会議は、情報モラルに関する課題等を把握することで、学校と家庭との連携の在り方や児童生徒が自ら判断し、行動できる資質・能力を身に付けることができるよう、児童生徒に対する適切な指導方法を検討することより、本市における情報モラル教育の一層の推進を図ることを目的としています。

平成30年度の取組

協議会での検討及びアドバイザーからの指導助言を受け、二つの部会で以下の取組を進めていく予定です。

1 家庭における推進検討部会

・家庭向けリーフレットの作成（11月のPTAフェスティバルで配付予定）

啓発運動の重要性（保護者間で情報モラルに関わる知識の共有）
トラブルの低年齢化－SNS上での事例
トラブルの起因 ①テクノロジーの発達 ②コミュニケーション不足
安心安全な機器の取扱い知識と使いこなすための技能取得

2 学校における推進検討部会

・児童生徒による啓発活動の拡充及び実践ガイド掲載の実践事例の補充

小中連携を図った子供たちが主体的に考える啓発活動
効果的な短時間での実践事例
「相談していいところ」ともっと知らせたい
タイムリーな時期での実践ガイドの活用支援

佐々木教育長あいさつ 「情報社会のメリットとリスクを認識すること」

スマートフォン等の普及により、使用機器や情報技術の高度化、利用方法や利用場面の拡大など、急速に変化しており、それに伴って我々の生活が豊かで便利なものとなっている。一方で、児童生徒については、長時間の使用による生活習慣の乱れ、不適切な利用による犯罪被害の増加、個人情報流出など、今日的な課題が引き続き懸念されている。

SNS等のコミュニケーションツールの普及、拡大により、ネット上の閉ざされた環境下でのいじめや、いじめの助長は、これまで以上に心配される。情報社会は、さらに速度を増し進展進化していくものと思われ、児童生徒は生涯にわたり、この情報社会の中で生きていかなければならない。

以上の観点から、小中学生の時期に、情報社会の中で適切な行動をするための考え方や態度を身に付けることは、豊かで幸せな生活を営む上では必要なことであり情報モラル教育を推進することは、教育委員会として、重要かつ急務であると考えている。

